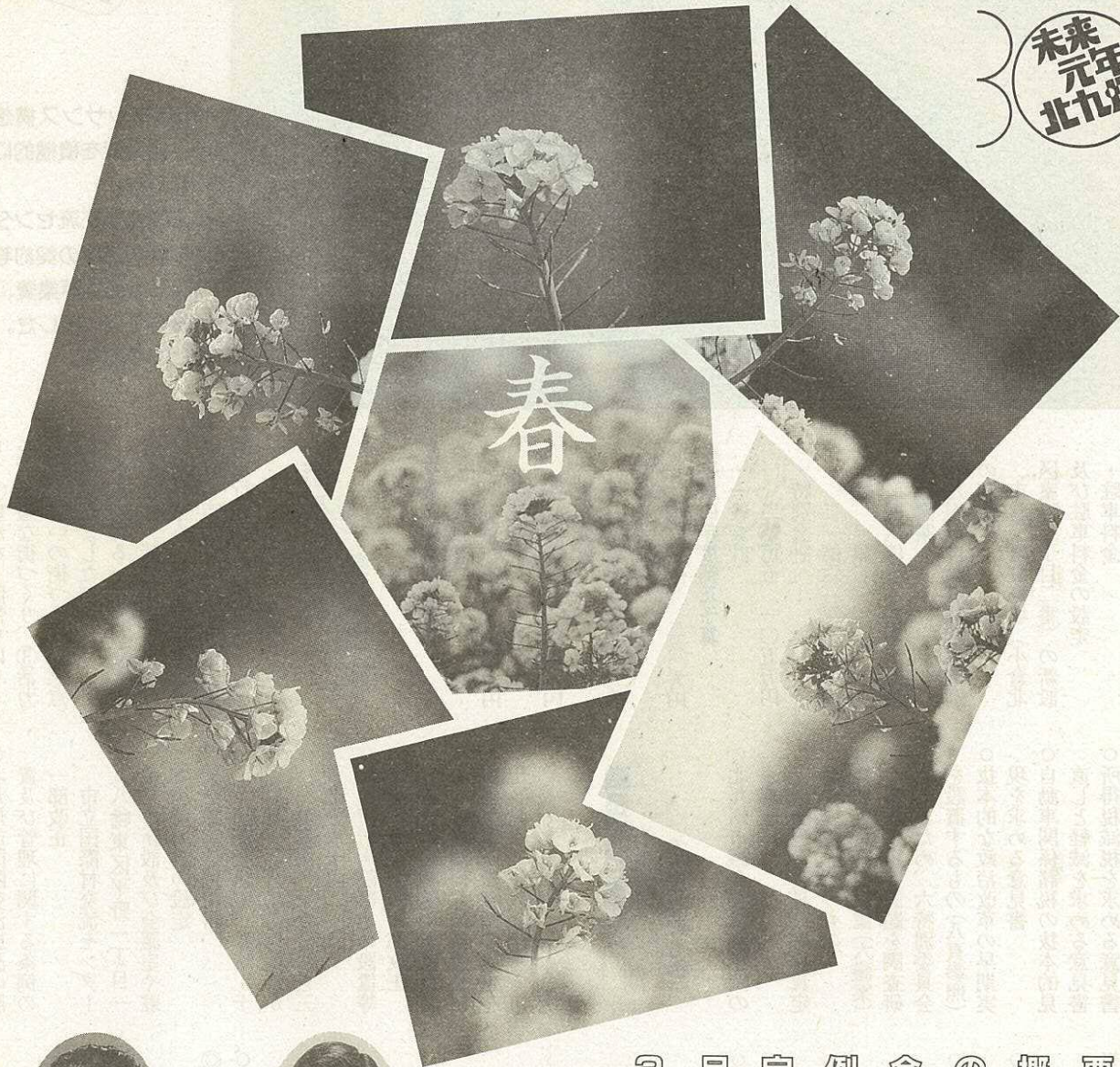


未来元年
北九州



副議長 白石 照義



議長 大坪 郁夫

私たちは、二月の市議会定例会において、議長及び副議長に選任されました。本市は、市制発足三十周年を迎え、今年を「未来元年・北九州」と位置付け、二十一世紀に向けた街づくりが積極的に推進されます。市議会も、皆様の期待と信頼に応え、議会としての役割を果たすべく、全力を尽くす決意です。今後とも北九州市の発展のために皆様のご理解とご協力をお願いします。

議長・副議長のごあいさつ

2 月 定 例 会 の 概 要

議員改選後、初めての議会である平成五年二月北九州市議会定例会が、二月二十三日から三月二十六日までの三十二日間の会期で開かれました。今定例会では、まず、正副議長の選挙や常任委員会の委員の選任など議会の組織づくりが行われました。次に市長から平成五年度当初予算や平成四年度補正予算、条例議案など七十九件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案を可決しました。また、議員から提出された議案は、特別委員会の設置など二十二件を可決しました。

高齢化や環境、景気対策を重視した積極型予算

平成五年度当初予算総額1兆389億円を可決

2月定例会



2月定例会では、「北九州市ルネッサンス構想・第一次実施計画」の総仕上げに向け諸施策を積極的に推進する5年度の当初予算を可決しました。

また、市営室町駐車場や市立国際村交流センター新設等の条例議案や仮称大手町ビル新築工事の契約等の一般議案及び道路、河川、公園建設等の公共事業費、地域輸入促進計画推進費等の補正予算を可決しました。

決まった主なものは、次のとおりです。

市長提出の 主な議案

五年度予算は、特に、①高齢者や環境にやさしい街づくり、②豊かな人間性をはぐくむ、快適な街づくり、③活力とにぎわいの街づくりの三点に配慮しました。
本市の明るい未来を築き上げるため、諸施策に積極果敢に取り組み、全力を尽くしますと、市長から提案理由の説明が行われました。

◎平成五年度当初予算

- ・一般会計 四、七六一億九、八〇〇万円
- ・特別会計 四、四〇〇億一、五六七万円
- ・企業会計 一、二二七億五、九九三万円

・総額 一兆三、八九億七、三六〇万円

◎平成四年度補正予算

- ・一般会計 二、四億五、一〇五万円
- ・特別会計 二、一億六、三三七万円
- ・総額 四、六億一、四四二万円

◎条例議案

- 北九州市自動車駐車場条例の制定
- 市営室町駐車場（小倉北区室町三丁目一番）の新設及び駐車料金の設定
- ・駐車料金
- 時間内駐車は、三十分

- 一五〇円、時間外駐車は一回一、五〇〇円など
- 北九州市国際交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 市立国際村交流センター（八幡東区平野二丁目一番）の新設及び会議室や駐車場使用料の設定
- ・会議室等使用料
- 国際会議室 九時～十二時、一五、〇〇〇円ほか
- 駐車場 一台につき三十分八十円

- 北九州市病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 市立門司病院の診療科目に「呼吸器科」の新設及び市立療養所松寿園の廃止を五年十月一日から実施

議員提出議案

(可決したもの)

- 北九州市議会委員会条例の一部改正
- 議会運営委員会の委員定数の変更を行うもの
- ・特別委員会の設置（八議案）
- 市政の重要課題を調査研究するため、六特別委員会を設置するもの（八頁参照）
- 抜本的な政治改革の早期実現を求める意見書
- 自動車関係諸税の抜本的見直しと軽減を求める意見書
- 所得税減税を求める意見書
- 勤労者にゆとりを保障する

- 北九州市立病院等の使用料及び手数料条例の一部改正
- 市立病院の分べん料の引上げなどを五年四月一日から実施
- ・分べん料の引上げ
- 時間内七〇、〇〇〇円
- 時間外八〇、〇〇〇円
- 深夜九〇、〇〇〇円
- ◎一般議案
- 仮称大手町ビル新築工事請負契約締結
- 契約金額 四八億三、〇七〇万円
- 土地の取得
- 門司区大字白野江等に所在する土地を特殊公園用地として買い入れる。
- ・面積 六万七、一三九㎡
- ・予定金額 三億七、一九万円

議員提出議案

- 労働基準法の改正を求める意見書
- コメの関税化を拒否し、日本農業と国民食料自給の確立を求める意見書
- 就職内定取り消しに対し、企業への指導の強化等を求める意見書
- 実効ある「障害者の新行動計画」の策定と法制度の改革、施策の充実を求める意見書
- 児童福祉法に基づいた保育制度の拡充を求める意見書
- 政令指定都市への都市計画法の権限移譲を求める意見書

※意見書は、関係行政庁に送付します。

議員総会開催（二月）

市議会では二月十日に、改選後最初の議員総会が開かれました。

総会では、市長があいさつに立ち、当選のお祝いと市政の課題解決に向けて協力を呼びかけました。

また、市幹部職員や行政委員の紹介及び初議会までの処理事項等について説明が行われました。

議員連盟設立（三月）

三月二十四日議員連盟の設立総会が開催され、次の五つの議員連盟が設立されました。
①日中友好、②姉妹・友好都市、③新北九州空港早期建設促進、④東九州自動車道早期建設促進、⑤東九州新幹線早期建設促進

この議員連盟は全議員で構成され、それぞれの目的を達成するため積極的活動を行っていくことが決定されました。
なお、姉妹・友好都市議連と東九州新幹線議連は、姉妹・友好都市との友好交流の促進や東九州新幹線の早期建設を目的に今回新たに設立されたものです。

質疑応答

本会議で、二十人の議員が、議案や市政全般について質疑を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



業者テスト廃止への対応は

▼中学校の進路指導▲

議員 文部省は業者テストの追放を求める通知を出しましたが、教育委員会として、今回の通知をどのように受け止めていますか。

また今後、業者テストの取り扱いを含め、中学校の進路指導の在り方をどのように改善していくのですか。

教育長 過度の受験競争という実態において、偏差値に

かなり依存している現実があります。今回の文部省の通知の、偏差値に依存しない進路指導という趣旨は賛成です。ただこの通知の趣旨の実現を図るための方法は、本市の個々の実情や問題を把握し、急激な変化により生徒、保護者に大きな混乱が生じないよう十分に検討を行う必要があります。

そこで、昨年十二月から校長、進路指導主事等をメンバーとする「進路指導に関する協力者会議」を設け、本市の実態を洗いだし、そのうえで具体的な方策を検討したいと考えています。

地下空間の利用について、行政としては検討する必要があると思っております。

本会議の傍聴を!

市政の動きや市議会の様子を知るには、なんといっても議会を傍聴することが一番です。

本会議は原則として公開されており、だれでも傍聴することができます。

開かれた親しみのある議会としても、皆様の傍聴をお待ちしています。

次の定例会は、6月に開催する予定です。

詳細については、市議会事務局総務課(☎582-2621)までお問い合わせ下さい。

一兆円の大台に

▼平成五年度予算▲

議員 一般財源の伸びが期待できない厳しい状況のなか、市制始まって以来の一兆円予算が計上されましたが、新年度予算で特に配慮した点についてお聞かせ下さい。

また、基金残高の減や公債費の増について、財政健全化の見地からどのように考えているのかお尋ねします。

市長 予算編成で特に配慮した点は、ルネッサンス構想を計画どおり行うこと、高齢者社会対策づくりをスタートさせることなどです。

また、景気の下支えになる施策として、中小企業向け融資の拡充や公共事業の前倒しなど織り込んで編成しました。財政調整基金の残高については、二年度末をピークに減っています。財政調整基金は現在のような時期に取り崩すのが、本来の目的に沿うものであり、まだ一・二年は持ち

地下街など

小倉駅周辺開発は

議員 現在整備が進められている小倉駅北口の国道一九九号の海岸寄りへの迂回により、その後、北口広場がどのように変わっていくのですか

また、地下商店街の建設など地下利用についても検討してはどうかと思えますが、市の考えをお聞かせ下さい。

市長 国道一九九号のバイパスは、四年度中に完成しま



人事紹介

今定例会において、次のかたがたが決まりました。

- 堀川水利組合議会議員(選任) 原田 照男 杉野 廣
- 伊藤 照雄
- 笹尾川水利組合議会議員(選任) 河崎 誠 村田 孝英
- 岩永 嘉美 小西 通敏
- 安川 弘水 金子 吉次
- 山本 善治 長谷川利一
- 合谷 喜六 近藤 新
- 直方市・北九州市岡森用水組合議会議員(選任) 佐々木健五 石田 康高
- 北九州市助役(同意) 出口 隆 清本 隆敏
- 北九州市監査委員(同意) 高尾 新一 戸町 武
- 富高 康典 杉山 武男
- 北九州市固定資産評価審査委員会委員(同意) 高橋 寿美子
- 北九州市各区農業委員会委員(推薦)
 - (門司区) 青山 幸雄 小野 臣博 橋本 和生 中島 慎一 上田 唯之
 - (小倉北区) 平山 政智 木村 優一
 - (小倉南区) 渡辺 讓治 蔵田 博 野口 研一 松井 克演 有馬 和子
 - (若松区) 三原 征彦 重田 幸吉 坂本 英敏 平田 勝利 野依 勇武
 - (八幡東区) 重野 幸宏 戸町 武
 - (八幡西区) 田仲 一雅 中野 利幸 江島 勉 中村 昌雄 有馬 利雄

平尾台の自然環境保護を

議員 平尾台では、オフロードバイクや四輪駆動車の進入による自然破壊が広がっています。

先日現地調査が行われましたが、被害の状況をどう把握し、どのような対策を考えているのか伺います。

市長 平尾台は国定公園で県の管理するところであり、管理体制の強化について県に要望しています。

現在、ポランティアや市で巡回を行っています。本市としても、平尾台の監視拠点として詰所を設け、自然公園指導員や自然保護団体の協力を得て、監視体制を進めてまいります。

建設局長 現地調査では、ドリーネに水が溜まり、その

第二夜間休日急患センターの設置を

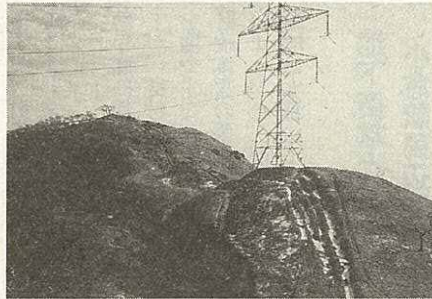
議員 第二夜間休日急患センター設置が答申されてすでに二年経過しました。センターの設置については、市民の立場にたち、市民の要請に応じるべきと考えます。

今日までの検討結果と、どこに、いつまでに設置する計画なのかお聞かせ下さい。
市長 答申は、市立八幡病

下に土砂が堆積していることが確認されました。

堆積土砂の処理については、ドリーネと鍾乳洞の因果関係、土砂の撤去の可否を調査中で、その結論を待つて対応します。

応急措置として、ドリーネに土砂が入らないように市道の排水系統の改良をしています。県も、土だけになった箇所にはススキを植えるなどの対策をしています。



院の近くに置くということでした。しかし、市民の間から八幡西区に置くべきとの意見が多く、合意形成が困難な状況です。

また、小児科医を中心とするマンパワーの確保に医師会、大学医局など関係者と折衝してきましたが、現在のところ目途は立っていません。

この答申の場所の問題も含め総合的に検討し、実現に向けて最大限に努力したいと考えています。

地域福祉センターと

市民福祉センターの機能は

▼高齢者福祉対策▲

議員 新年度予算に、保健・福祉・医療サービスの総合的な拠点となる地域福祉センターの基本計画策定経費や地域福祉、コミュニティの中核施設となる市民福祉センターの建設経費が計上されています。

これらの機能や計画について考えをお聞かせ下さい。
また、既存の施設である公民館等との関係や管理運営についてもお尋ねします。

市長 高齢化社会対策を進めるうえで一番の問題は、地域での対応を組織的にどうするかということです。

今回、小学校単位で地域住民の主体的な福祉活動や生涯学習など気楽に利用できる地域コミュニティの場として市民福祉センターを設置することになりました。

五年度は三館の建設を計画していますが、現在公民館のないところを中心に場所の選定をしたいと考えています。

民生局長 地域福祉センターは、保健・福祉・医療にわたる高齢者の様々な問題に対する総合相談窓口を設置し、相談からサービスの決定、提供までを一貫して一元的に取り扱うもので、各区に一カ所

整備することにしています。この総合相談窓口を設置するためには、現在の保健所、福祉事務所の機能や組織を見直す必要があります。統合を含めた見直しを進めていきたいと考えています。

市長 地域公民館のある小学校区には、新たに市民福祉センターを設置せず、既存の地域公民館に市民福祉センターの機能をもたせ、その運営については、地域の実情を十分配慮していきます。

また、市民福祉センターの所管は市民局ですが、関連する民生局、教育委員会と十分連携を図っていききたいと思えます。

議員 運輸省が開発推進している「海の新幹線」と呼ばれるテクノスーパーライナー(TSLL)超高速貨物船は、新しい高速海上輸送手段として期待されていますが、これに関する国の開発計画や本市のTSLL誘致活動について伺います。

港湾局長 現在、運輸省はTSLLの研究開発と需要予測やターミナル等の関連調査を進めています。また、実験船の建造に既に着手しており、六年度には全

誘致活動の取組状況は

▼テクノスーパーライナー 寄港地の誘致▲

議員 運輸省が開発推進している「海の新幹線」と呼ばれるテクノスーパーライナー(TSLL)超高速貨物船は、新しい高速海上輸送手段として期待されていますが、これに関する国の開発計画や本市のTSLL誘致活動について伺います。

港湾局長 現在、運輸省はTSLLの研究開発と需要予測やターミナル等の関連調査を進めています。また、実験船の建造に既に着手しており、六年度には全

国にTSLL対応の港湾配置計画の策定も予定し、十年頃には実用化の運びと聞いています。TSLL導入は港湾や背後の

テレホンサービスで 行政情報の提供

本定例会で、4月から電話による市政情報案内事業を行うことが明らかになりました。このテレホンサービスは、NTTのハローダイヤルを活用して、諸証明の交付申請案内をはじめ、福祉、保健、教育等の各事業の窓口案内、イベントや講演会の案内、美術館、体育館、公民館等の施設案内の情報提供をします。利用時間は、年末年始を除き、平日・土曜が9時から20時まで、日曜・祝日は9時から17時までです。



(TSLLイメージ図)

経済活動に大変革をもたらす可能性があり、北九州港の発展に極めて重要と認識しており、本港への就航の可能性等、既に基本調査を進めています。TSLL誘致には、関係官庁や民間団体の協力を得て、誘致懇談会などを設け、積極的に対応したいと考えています。

テクノスーパーライナー (TSLL)超高速貨物船
新しい海上高速輸送手段として開発中の、速力五十ノット(時速九十二・五km)、貨物積載重量一千t、航続距離約一千kmという、従来の船舶の限界を超えた超高速貨物船

北九州学術・研究都市 整備構想は

議員 北九州学術・研究都市整備構想は、どのように事業を進める計画ですか。

市長 住宅・都市整備公団の参入はどのようにしているのかお伺いします。

市長 北九州学術・研究都市は、全体で三百二十五haあり、区画整理方式で行いますが、当面第一期として約百二十haの区域を決めて、取り掛かっています。区画整理方式ですが、半分くらいは、市も地主になって進めたいという

ことで先行買取をしており、五年度は、さらに買取を進めたいと思います。

住宅・都市整備公団の参入については、公団も意欲的な面が見られますので、共同で事業を進めていく可能性は大いにあります。

結核医療対策は

▼松寿園問題▲

議員 松寿園の存続と結核医療の充実を求める署名が市長に提出されましたが、これから市民団体との話し合いを十分に行わず、廃止の議案提出

をなせ行つたのですか。また、本市の結核医療対策に上必要な病床数の確保について、必要な病床数と近隣病院の空床数を教えて下さい。

保健局長 団体の代表とは昨年二回にわたり話し合いをいたしました。また、廃止については市政だよりや市職員による出前講演、パンフレットの配布など、市民にご理解いただけるよう努めてきました。合併症患者の増加等、疾病構造の変化に対応する医療の整備の必要性や経営改善を図るため、今回松寿園を廃止し、市立門司病院に呼吸器科を新設する条例案を提出しました。病床数の確保については、

院内感染対策は

議員 現在、全国の病院や老人ホームで、MRSA等による院内感染問題が深刻化しています。

そこで、市立病院や市内の

老人福祉施設での感染予防対策の現状と今後の取組みについてお尋ねします。

民生局長 老人福祉施設では、施設内の清潔保持などに注意し、特に、MRSAの保菌者が出た場合には、個室に移して医師の管理下におくなど感染の防止に努めています。今後も、施設内の衛生管理を徹底させ、職員の感染予防に対する意識を高めるなどの指導を行います。

病院局長

市立病院では、各病院がMRSA等の院内感染マニュアルをつくり、予防対策を図っていますが、さらに、これを統一し、より良いものとするため、院内感染対策特別委員会を設置し、新し



市内の結核患者が減少したことと、松寿園の結核入院患者が概ね百二十人前後で推移していたことから、近隣の医療機関の収容能力、市民の利便性等を考慮して門司病院に結核病床五十五床が必要であると判断しました。

周辺の各医療機関の収容能力については、前後七回にわたる調査の結果、余力があるという結果を得ています。

病院局長 松寿園については、一昨年の「保健医療総合検討委員会」の答申を受け検討した結果、結核患者の減少患者の高齢化による合併症の増加等の医療環境の変化を考慮して廃止し、併せて門司病院に結核病床を設置する考え方を、昨年の二月議会で表明したところです。

四月からは、新しい指針に基づき、防止対策の強化を図っていきたくと考えています。

院内感染

本来、病気を治す場所であるはずの病院で、逆に病気に感染してしまう現象をいいます。

近年注目されているものにMRSA(メチシリン耐性黄色ぶどう球菌)による院内感染症がある。これは、外科手術後の患者に発症することが多く、従来の抗生物質では効果が少なく致死率も高いため、深刻な問題となっている。

農業振興対策を

▼農業後継者育成対策・ちびっこ農業▲

議員 次代を担う農業後継者問題は極めて深刻な状況で実効ある後継者対策が必要と思いますがいかがですか。

また四年度から一部の小学



校で実施している「ちびっこ農業」の評価及び全小学校での実施についてお伺いします。

経済局長 五年度は農協や県などの協力を得て、大学の先生を塾長に招き、農業後継者に今後の農業経営や技術等を養っていただく「農業後継者塾」の開催や新規の就農者に研修用の栽培施設に対する補助など考えており、農業後継者の育成に努めていきます。

また、ちびっこ農業は、農業体験学習ということで、四年度は小学校、八校で実施しました。これは児童が農作業を自ら行い、収穫の喜びを味わうことを通して、農業・農村への理解を深めるためのものと考えており、五年度には一校増やして、九校で実施します。

実施に際しては、学校の教育課程の問題や学校付近に適当な遊休農地があるかなど、総合的に考えたいので、学校の実状に応じて対応しています。現時点では、全小学校での実施までは考えていません。

これら資産の有効活用は、国の助成や制度の仕組みを変えないと実現しないものがあり、調査をしたから直ちに行うというものではありません。しかし、鉄道整備についての制度改正の可能性もあり、これに先駆け調査・研究を行う考えです。

鉄道資産の有効利用を

▼若松の交通網整備▲

議員 新年度予算に鉄道資産の有効利用に関する構想調査費が計上されていますが、具体的にどのような構想、調査を考えているのですか。

市長 今回の調査は、JRや民間の引き込み線も含め相当数ある市内の鉄道資産について、公共交通機関の整備という点から、これら有効利用する際の問題を全市的に検討しようというものです。

環境事業の見直し

▼市場・商店街ごみ
大型ごみ収集▲

議員 四月から市場・商店街ごみ収集を週二回実施へ移行させようとしています。地元が十分理解し、協力できる体制を作り出すためにも、少なくとも何らかの暫定措置を設けるべきと考えますが、いかがですか。

また、大型ごみ収集についても個別収集等の検討がされていると聞きますが、現在どのように考えていますか。

環境局長 環境局では、全



ての市場・商店街のごみ収集回数を来年四月から週二回収集に改めることとし、それまでの暫定措置として、現行週

チーム・ティーチング制の導入は

議員 一クラスを二名の教員で授業を行う、いわゆるチーム・ティーチング制が導入されようとしています。どのように実施される予定ですか。

導入に際しては、国語、算数、数学、外国語の教科で実施する考えで、現在検討を重ねています。

導入校を決定次第、当該校でのチーム・ティーチングの具体的な方法等の研修の場を設けるなど、円滑な実施に踏み切りたいと思っています。

議員 救急救命士を養成する研修所が本市に設置されますが、研修所の概要と建設の日程についてお伺いします。

また、研修所の運営面で本市はどのような協力をするのですか。

救急救命士養成の研修所概要は、建設の日程は、七年四月開校に向け、現在庁舎の設計を行っており、今秋着工し、六年十二月に竣工の予定です。

運営面での協力について本市は、大学、市医師会と緊密な連携を取り、多くの講師陣や実習病院の確保に、全面的に協力していく考えです。

離島振興対策は

議員 藍島の給水対策について、海底送水化を早く実現していただきたいと思いが、考えをお聞かせ下さい。

また、小倉航路の藍島側を出発する際、十五分前にしか乗船できず、寒い中、船を前にして岸壁でじっと待っている状態です。

そこで、渡船の待合所を造る考えはないのかお伺いします。

市長 藍島、馬島が、五年度に始まる県の離島振興計画に位置付けられることに全力を挙げています。

施設利用証を年長者全員に郵送!

市では、65歳以上の希望者に限って、体育、文化施設の無料利用、また、めかり山荘、若戸渡船などの割引利用ができる年長者施設利用証を、これまで民生委員を通じて交付してきました。

今定例会で、この施設利用証を、今年から65歳以上の年長者全員に敬老の日までに郵送することが明らかになりました。



経済局長 藍島渡船場について

着き場を造りましたが、全体の整備工事が、六年に終わる予定ですので、それ以後できるだけ早く、新しい待合所を造りたいと思います。

エイズ対策の強化を

議員 予想以上にエイズ患者は増加しており、総合的なエイズ予防対策が急務です。

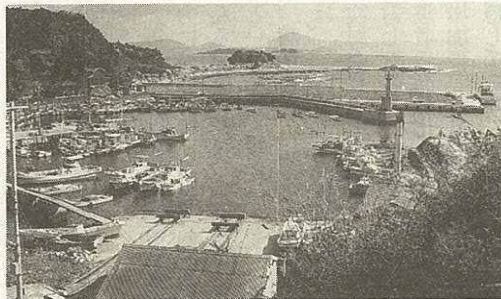
そこで、エイズ検診の無料化や、感染者の受け入れ体制の整備について考えをお聞かせ下さい。

保健局長 新年度から保健

所です実施するエイズ検査については、毎週一回の検査体制を実施し、感染の可能性がありますが、証明等自己の事情によることが明らかな場合は引き続き有料とします。

これにより、感染の不安を持つ多くの人が無料、匿名で検査が受けられます。また患者、感染者が安心して医療が受けられる医療体制の整備を図ることは、当然必要であり、医療関係者と鋭意協議を重ねてきたところで、新年度設置予定の、「エイズ対策推進協議会」で意見をいただきながら、市立病院を含む医療機関の体制づくりに取り組んでいきます。

海底送水管の布設に当たっては、各種調査が必要で、許認可を得るため、多くの手続が必要で、予備的な調査は現在進めています。



予算特別委員会の審査から



3月10日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをご紹介します。

保健・福祉・医療 連携システムの成果は

委員 現在、八幡東区において、保健・医療・福祉連携システムのモデル事業が実施されていますが、成果についてお伺いします。

当局 昨年九月から、行政地域住民、医療関係者等からなる推進協議会を設置し、モデル事業を実施しています。成果としては、①寝たきりの方や一人暮らしの高齢者の方にかかわるマップや個人カードの作成等を通して、関係者間の情報の共有が進んでいる②総合病院と開業医との連携、役割分担がスムーズに進むとともに、医療と行政との連携が促進されている③住民意識の高揚に貢献しているなどがあげられます。

委員 高齢者向け住宅改良に当たって融資限度額二五〇万円は、少額すぎるのではありませんか。また、融資制度のPRも積極的な姿勢が必要だと思いますがいかがですか。

当局 住宅金融公庫が、増改築に対して五一〇万円まで融資を行っており、本市のマイホームローンの二五〇万円と合わせると七六〇万円の融

高齢者に配慮した 住宅供給制度を

十分な点があります。五年度では、校区レベルでの地域づくりにも力を入れながら、四月から八幡東福祉事務所と若松福祉事務所に相談窓口を設置し、十月には全福祉事務所に相談窓口を拡大していきたいと思えます。

資が可能となります。融資制度については、住宅金融公庫に上乘せしている事業です。で、全体で見えていただきたいと思えます。

委員 PRについては、需要を掘り起こす仕組みや住まいづくりなどに関する情報を積極的に提供していきます。

整備計画の状況は

▼東九州自動車道▲

委員 東九州自動車道のル

ートについて、九州自動車道からの分岐点など、具体的な報道がありました。整備計画の状況をどのように把握されているのかお尋ねします。

当局 ルートについては国が決定するもので、北九州市、大分市間は基本計画区間に採択されている段階であり、建設実現には、さらに国の審議会で整備計画として承認される必要があります。

そこで国は、六年に開催が予想される審議会に向け、四年度から環境アセスメントの調査を実施し、五年度にはおおよそのルートが示され、関係者に説明に入ると聞いています。市としては、新空港へのアクセスだけは是非確保す

結核予防は、まず検診！



昨年、学習塾での結核集団感染が発生しましたが、塾など多くの人が集まる場所での結核予防のため、検診率の向上対策について、委員から質問がありました。

当局 からは、「受診率の向上のため基本健康診査とセットにするなどして検診の呼びかけをしています。今後とも全力を挙げたいと思えます」、また、「学習塾とその類似施設に対して、雇入れ時の検診等健康診断の実施について文書で勧奨し、さらに、この趣旨が徹底しているかどうかアンケート調査を実施し、その結果を集約しているところです。この結果を踏まえ、集団感染再発防止のための施策を講じていきます」との答弁がありました。

公共事業の発注は

委員 公共事業で年度末に工事発注が集中しているようですが、年度前半にも発注ができないかお伺いします。

当局 ここ数年、年度末に契約を行い、年度当初から工事に入れる事業を極力増やしてきました。今年も、昨年の十二月の補正等で、債務負担を積極的に利用するなどして、早期発注ができるように、公共事業の前倒しを行い、工事の切れ目がないうち配慮しています。

るよう国に申し入れられているところでです。

を生かしたレクリエーション機能など、一体的な整備を考えています。

曾根出張所の 建て替えは

委員 曾根出張所が建設されて三十四年経過しています。

さらに、国においても、例年五月だった工法協議を三月までに終わらせていますので、今年に限っては、国の補助事業が相当前倒しになると思えます。

当局 曾根出張所については、確かに三十年以上経過し老朽化が進んでいますが、当面は、内部改修やレイアウトの見直しにより対応したいと思えます。

瀬板の森整備計画の 見直しは

委員 昨年十一月に公表された、瀬板の森整備計画の、今後の見直しについてお伺いします。

当局 瀬板の森整備については、市街地にあることから、研修機能、居住性を高める機能、高次ビジネス機能や水辺

今ただちに、どういう計画で進めようというところまで至っておりませんが、いずれにしろ建て替えを含めいろいろ検討すべき点がありますので、住民の意向、交通事情開発状況を含めた基礎的な調査を行いたいと考えています。

会 派 構 成							◎代表者		議会運営委員会 ◎委員長 ○副委員長
自市民民クラブ	民社・市民連合	日本社会党	公 明 党	日本共産党	自由民主党	無 所 属	無 所 属	委 員 名	
◎平山 政智 後藤 俊秀 伊藤 豊仁 佐々木健五 三原 征彦 河崎 誠 田仲 一雅 井上 勝二 井生 猛志 浜田 順治 木下 憲定 渡辺 讓治 吉尾 計 山中 三敏 藏田 博 武智 弘 (16名)	◎重田 幸吉 佐藤 昭紀 中野 利幸 泊 正明 山田征士郎 安藤 正道 谷 良三 野口 研一 大坪 郁夫 中川 壽 (10名)	◎松井 克演 野上 隆三 重野 幸宏 青山 幸雄 馬場 一榮 白石 照義 江島 勉 坂本 英敏 原田 照男 (9名)	◎有馬 利雄 中村 昌雄 高尾 新一 吉河 節郎 赤松 文雄 西 豊磨 小野 臣博 平田 勝利 木村 優一 (9名)	◎野依 勇武 有馬 和子 荒川 徹 橋本 和生 原 博道 石田 康高 福田 淑江 水町 勝利 村田 孝英 (9名)	◎木村 証 戸町 武 三村 善茂 鷹木 勝治 吉田 通生 中島 慎一 片山 尹 城戸 武光 上田 唯之 (9名)	細川 政勝 (1名)	木村 正幸 (1名)		◎佐藤 昭紀 ○坂本 英敏 佐々木 健五 河崎 誠 安藤 正道 平田 勝利 水町 勝利 上田 唯之

常 任 委 員 会							◎委員長 ○副委員長	
名称	総務財政委員会	経済港湾委員会	民生保健委員会	環境教育委員会	建設交通委員会	建築水道委員会		
所管事項	会計室、秘書室、広報室、契約室、検査室、企画局、総務局、財政局、市民局の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項	経済局、港湾局及び農業委員会の所管に属する事項	民生局、保健局、消防局及び病院局の所管に属する事項	環境局、北九州大学及び教育委員会の所管に属する事項	建設局、都市計画局及び交通局の所管に属する事項	下水道局、建築局及び水道局の所管に属する事項		
委員名	◎上田 唯之 ○山田征士郎 渡辺 讓治 平山 政智 山中 三敏 重野 幸宏 白石 照義 高尾 新一 水町 勝利 片山 尹	◎谷 良三 ○城戸 武光 田仲 一雅 吉尾 計 安藤 正道 野上 隆三 江島 勉 西 豊磨 小野 臣博 橋本 和生 野依 勇武	◎鷹木 勝治 ○馬場 一榮 後藤 俊秀 三原 征彦 浜田 順治 佐藤 昭紀 大坪 郁夫 平田 勝利 有馬 和子 木村 正幸	◎青山 幸雄 ○細川 政勝 伊藤 豊仁 佐々木健五 武智 弘 泊 正明 重田 幸吉 有馬 利雄 荒川 徹 福田 淑江 三村 善茂	◎中島 慎一 ○松井 克演 河崎 誠 藏田 博 中野 利幸 野口 研一 原田 照男 吉河 節郎 木村 優一 石田 康高 戸町 武	◎村田 孝英 ○坂本 英敏 井上 勝二 井生 猛志 木下 憲定 中川 壽 中村 昌雄 赤松 文雄 原 博道 木村 証 吉田 通生		

特 別 委 員 会							◎委員長 ○副委員長	
名称	大都市税財政制度確立特別委員会	市政運営特別委員会	都市活性化対策特別委員会	高齢化社会対策特別委員会	新空港対策特別委員会	都市交通・環境対策特別委員会		
調査事件	●大都市税財政制度の確立について ●市のイメージアップについて	●行政区の再編成について ●近隣市町村との合併について ●選挙区の議員定数について	●都心・副都心の整備について ●学術・研究都市の形成について ●企業の育成・誘致及び雇用対策について	●高齢化社会対策について	●新北九州空港の建設促進について ●北九州空港対策について	●基幹交通網の整備について ●環境対策について		
委員名	◎野依 勇武 ○山田征士郎 後藤 俊秀 井上 勝二 平山 政智 重野 幸宏 有馬 利雄 赤松 文雄 鷹木 勝治 上田 唯之	◎片山 尹 ○福田 淑江 佐々木健五 田仲 一雅 井生 猛志 佐藤 昭紀 重田 幸吉 青山 幸雄 坂本 英敏 中村 昌雄 木村 証	◎平田 勝利 ○城戸 武光 伊藤 豊仁 山中 三敏 谷 良三 中川 壽 白石 照義 原田 照男 木村 優一 荒川 徹 原 博道	◎安藤 正道 ○吉河 節郎 浜田 順治 木下 憲定 武智 弘 野上 隆三 橋本 和生 水町 勝利 戸町 武 細川 政勝	◎西 豊磨 ○松井 克演 渡辺 讓治 吉尾 計 藏田 博 泊 正明 野口 研一 小野 臣博 石田 康高 三村 善茂 中島 慎一	◎江島 勉 ○有馬 和子 三原 征彦 河崎 誠 中野 利幸 大坪 郁夫 馬場 一榮 高尾 新一 村田 孝英 吉田 通生 木村 正幸		

□本紙は再生紙を使用しています。

□全世界配布

□印刷 株式会社

ゼンリンプリンテックス(門司区)